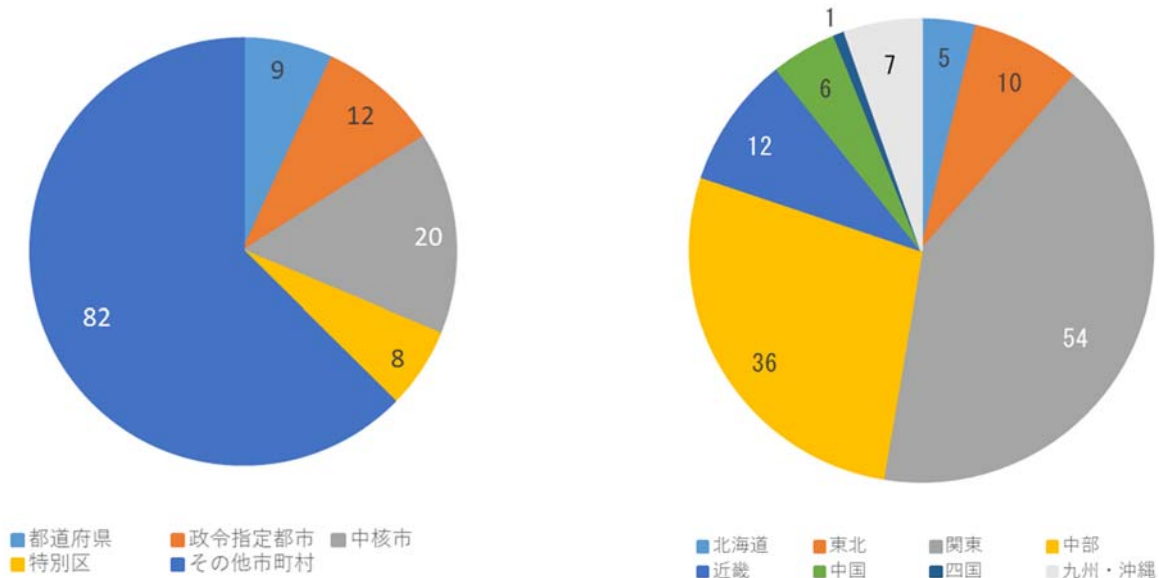


## 2018 年度の Topic

### ■ 協力自治体が増加中

- ・ 2019 年 3 月末時点で、131 自治体にご協力いただきました（2018 年 3 月末時点では 98 自治体）。
- ・ 協力自治体の内訳は下記のとおりです。



### ■ データベースに 41 件の業務実績が蓄積

- ・ 2018 年度には 41 件の優良業務が登録されました。
- ・ データベースには合計 127 件の優良業務が登録されています（試行期間と本格期間の合計）。

試行期間		本格実施		合計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	
27 件	40 件	19 件	41 件	127 件

### ■ 静岡市と昭和株式会社に感謝状



静岡市 都市局次長  
宮原 晃樹氏



昭和株式会社 社長  
本島 哲也氏

- ・ 2018 年 11 月に開催された都市計画学会全国大会の場で、ejob 事業に貢献された 2 団体に対し、森本章倫運営委員長より感謝状が贈られました。
- ・ 感謝状を受けたのは、これまで 17 件の評価を実施いただいた静岡市さん、同じく 41 件の評価依頼をお出しいただいた昭和株式会社さんです。

## ■ ejob 事業の根底にある「自治体とコンサルタント」の関係を議論



会場の様子

- ・全国まちづくり会議 2018in 福岡において、「ejob 事業はこれからの都市計画に貢献するのか？」と題し、九州圏の地方公共団体、コンサルタント、学識経験者をパネラーに招き、本事業について議論しました。
- ・議論の概要は、以下の通りです。

### ●自治体とコンサルタントの関係

#### (1) 自治体がコンサルタントに求めること

- ・自治体の知識を超える提案や地域に即した提案
- ・自由な議論ができること

#### (2) 業務遂行に際し、コンサルタントが心掛けていること

- ・行政をリード（戦略化・行政職員の教育）すること
- ・最新の制度・施策への対応
- ・地権者・行政等の関係者の間に立った調整と事業の立上げから完了まで一貫したトータルコーディネート

#### (3) 自治体がコンサルタントを評価する視点

- ・担当者同士のコミュニケーションを特に重視
- ・成果イメージ共有、受容力や仕様書プラス $\alpha$ の提案



座長を務められた熊本大学顧問・名誉教授の両角先生のコメントが参加者に好評でした。

### ●ejob 事業に対するご意見

#### (1) 自治体からのご意見

○業務を評価すること自体が担当者のスキルアップにつながる

△全てのコンサルタントが参加していないことと希望した業務のみが評価されているため、指名競争入札時等に参考にしづらい。

#### (2) コンサルタントからのご意見

○会社と担当者の PR になる。

○社内の自治体業務の評価指標として使える

△満足度で評価が決まること対して疑問や矛盾がある

△登録業務数が増えなければ標準的な指標にならない

△仕様書プラス $\alpha$ が評価につながるとの意見について、過剰要求などに注意する必要がある

#### (3) その他ご指摘

□試行期間と本格実施の4年間の実績を踏まえたフォローアップや都市計画4団体からの情報発信が必要

□評価の公平性を担保できるような方法を検討すべき

□まずは、委託業務を「評価すべきもの」という視点に立つことが必要

□テクリスを補完する制度になればよい

※ ○：良い点 △：課題 □：その他ご指摘